

令和元年度 事業報告書

(令和元年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

目 次

I 法人の概要

- 1 法人の名称
- 2 法人の所在地
- 3 認可年月日
- 4 沿革及び学園の組織
 - (1) 学園の沿革
 - (2) 学園の組織
 - (3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名
 - (4) 設置する学校・園の名称及び所在地
 - (5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況
 - (6) 設置する学校・園・学科等教員・保育士数の状況

II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

III 財務の概要

※別紙資料の通り

学校法人 三浦学園

I 法人の概要

1 法人の名称

学校法人 三浦学園

2 法人の所在地

東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

3 認可年月日

昭和 19 年 3 月 31 日

4 沿革及び学園の組織

(1) 学園の沿革 (別紙参照)

(2) 学園の組織 (別紙参照)

(3) 役員及び監事・評議員の氏名及び役職名

① 理事・監事

〈令和 2 年 3 月 31 日現在〉

役職	選任事項	氏名	現職
理 事 長	第 2 号 理 事	三 浦 洋 義	学園長
常 務 理 事	第 2 号 理 事	根 岸 順 一	法人本部事務局長
理 事	第 1 号 理 事	若 林 彰	有明教育芸術短期大学学長
理 事	第 3 号 理 事	井 上 嘉 明	井上税務会計事務所長
理 事	第 3 号 理 事	富 永 光太郎	(株)リヴィジョン代表取締役社長
理 事	第 3 号 理 事	陰 山 雄 司	岩井機械工業株式会社主幹
監 事		朝 倉 和 行	(株)朝倉代表取締役
監 事		村 滋	(有)ムラ・アソシエイツ代表取締役

② 評議員

役職	選任事項	氏名	現職
評 議 員	第 1 号 評 議 員	三 浦 洋 義	学園長
評 議 員	第 1 号 評 議 員	根 岸 順 一	法人本部事務局長
評 議 員	第 1 号 評 議 員	三 浦 裕 明	理事長補佐
評 議 員	第 1 号 評 議 員	中 西 菊 乃	有明教育芸術短期大学事務局次長
評 議 員	第 1 号 評 議 員	菊 本 和 仁	日本音楽高等学校長
評 議 員	第 1 号 評 議 員	小 菅 雅 之	法人事務局経理課長
評 議 員	第 1 号 評 議 員	洪 谷 匡	法人事務局広報課長
評 議 員	第 2 号 評 議 員	水 本 眞 澄	日本音楽学校幼稚園長
評 議 員	第 2 号 評 議 員	田 中 美 恵	日本音楽学校保育園長
評 議 員	第 2 号 評 議 員	新 井 清	(有) 希望商事代表取締役

評 議 員	第 3 号 評 議 員	平 井 キミ子	日本音楽高等学校同窓会監査
評 議 員	第 3 号 評 議 員	森 戸 由 久	創価女子短期大学名誉教授
評 議 員	第 3 号 評 議 員	根 本 美 香	根本美香バレエスクール主宰

(4) 設置する学校・園の名称及び所在地

名称	所在地
有明教育芸術短期大学 子ども教育学科	〒135-0063 東京都江東区有明二丁目 9 番 2 号
日本音楽高等学校 普通科 (幼児教育コース) 音楽科 (幼児教育コース) (音楽コース) (バレエコース) 〈舞台芸術コース〉	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号
日本音楽学校幼稚園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号
日本音楽学校保育園	〒142-0042 東京都品川区豊町二丁目 16 番 12 号

(5) 設置する学校・園等の入学定員及び学生・生徒・園児数の状況

〈令和元年 5 月 1 日現在〉

	入学 定員	収容 定員	学生生徒園児 現 員 数	令和元年度 入学者数
有明教育芸術短期大学	100 名	300 名	175 名	63 名
子ども教育学科	100	300	175	63
日本音楽高等学校	100	300	198	72
音楽科 (幼児教育コース)	100	300	24	8
(音楽コース)			51	20
(バレエコース)			66	21
〈舞台芸術コース〉			57	23
日本音楽学校幼稚園	35	150	98	35
日本音楽学校保育園	9	26	30	11

(6) 設置する学校・園教員・保育士数の状況 (令和元年5月1日現在)

①短大教員

設置校名	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	兼務者
有明教育芸術短期大学	7	4	3	0	0	14	22

*学長は教授に算入

②高校教員・幼稚園教員・保育園保育士

設置校名	専任教諭・保育士	兼務者
日本音楽高等学校	17	57
日本音楽学校幼稚園	7	0
日本音楽学校保育園	12	0

II 事業の概要

※各学校・園の事業報告は別紙資料の通り

III 財務の概要 別紙資料の通り

令和元年度 有明教育芸術短期大学 事業報告

1 教育課程

令和元年度大学暦に基づき授業を予定通り遂行した。

(1) 新カリキュラム編成

教育職員免許法及び同施行規則の改訂にあわせ、1年生（令和元年度入学生）には、文部科学省より教職課程の再課程認定を受けた新カリキュラムにて授業が行われた。指定保育士養成課程に関する再認定については、東京都福祉保健局より平成31年3月22日付けで承認されたカリキュラムで授業が行われた。

(2) 教育課程の整備

「令和元年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 特色ある教育の展開）」が掲げる調査票に基づき、30の視点から整備した。整備の結果について、私立大学事業団に申請したところ選定大学として選定された。

なお、申請時に実施した自己評価は57/89点であった。申請した短期大学は184校であり、選定されたのは本学を含め47校（選定率26%）である。（昨年度32%）

< 私立大学等改革総合支援事業 未改善事項 >

1 教育の質向上

① ICTを活用した双方向型授業及び自主学習支援の実施

2 高大連携強化

⑬ 一般入試における多面的・総合的な評価

⑭ 一般入試における記述式問題の出題

3 データ活用による教育展開とデータ活用人材の育成

⑲ IRに係る専門職の配置

⑳ 数理・データサイエンス教育にかかる科目の開講

㉑ 情報教育における実践的なデータサイエンス教育の実施

4 多様な教育体制と社会との連携

㉒ 分野・学部等横断的カリキュラム検討体制

㉓ 非常勤教員も含めた実務家教員の教育課程編成への参画

㉔ 学生に主専攻・副専攻制等による履修の義務化

㉕ 3期制又は4期制、秋入学等の学事暦の柔軟化

(3) その他

新型コロナウイルス感染拡大予防対応のため、以下の行事及び活動が中止された。

① 学位授与式 3月19日実施予定 → 中止

② 教員連絡会（専任、非常勤教員全員で行う連絡会）3月25日実施予定 → 中止

③ 入学前教育（選択課題－ピアノ実技講座の受講）→ 中止

※ 必修課題－読書感想文－実施済－

選択課題－保育関連施設調査レポート－実施済－

2 教員人事（令和元年度～2年度異動）

(1) 退職者		
専任 5名	諸井 泰子 三澤 裕見子 杵鞭 広美 岩本 圭子 木田 竜太郎	学科長 教授 図書館長 教授 教授 准教授 准教授
非常勤3名	小林 康一 出野 由紀子 丸山 正	担当科目 「憲法」 担当科目 「英語コミュニケーション」 担当科目 「レクリエーション実技」他
(2) 異 動 昇任1名 赤坂 澄香 講師 准教授 昇任		
(3) 採用者		
専任 5名	長田 信彦 教授 信太 朋子 准教授 山本 剛 准教授 澤田 由美 准教授 堀越 敦子 講師	担当科目 「国語科指導法」他 担当科目 「保育内容」（環境）他 担当科目 「地域社会論」他 担当科目 「子どもの保健」他 担当科目 「障害児保育」他
非常勤7名	山崎 英壽 黒須 育海 寺澤 君枝 高根沢紀子 篠原 俊明 矢島 卓郎	担当科目 「憲法」 担当科目 「体育」 担当科目 「英語コミュニケーション」 担当科目 「児童文学」 担当科目 「レクリエーション実技」他 担当科目 「特別支援教育演習」他

※ 令和2年度は、教授4名 准教授6名 講師3名 計13名となる。

3 自己点検・評価

(1) 情報公開

平成30年度 of 教育課程に関する自己点検・評価をホームページで公開した。

(2) 第三者（学外有識者）による点検・評価

令和元年度における本学の3つのポリシー（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー、ディプロマポリシー）及び地域連携・貢献に関する諸活動について点検・評価を受けて承認を得た。

(3) 元年度自己・点検評価報告書作成（令和2年6月完成）に向けた準備

自己点検・評価項目の整備を終了した。

(4) 大学等改革総合支援事業（タイプ1）調査票に基づき、本学における教学マネジメントの現状を点検した（57/89点）。その結果、大学等改革総合支援事業（タイプ1）の選定大学として選定された。（再掲）

4 入試制度の改革

令和2年度実施の入学者選抜について、入試方法、入試区分、実施時期を変更するための検討・協議を行った。

＜主な変更点＞

- (1)すべての入試区分において、「知識・技能」「思考力判断力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ」の学力の3要素を多面的・総合的に評価して合否を決定する。
- (2)入試区分

一般選抜	(旧)一般選抜	45名
総合型選抜 適性評価型 プレゼンテーション型	(旧)A0入試 (旧)自己推薦入試	45名
学校推薦型選抜 公募制 指定校制 特待生 日本音楽高等学校特別推薦	(旧)推薦入試(公募制) (旧)指定校推薦入試 (旧)特待生推薦入試 (旧)日本音楽高等学校特別推薦	10名
特別選抜(社会人)	(旧)社会人入試	若干名

- (3)実施時期 試験日は、10月以降とする。(元年度は9月以降)

5 教員評価の実施

「有明教育芸術短期大学教員活動評価実施規程」を9月に制定した。教員評価活動は本学初の試みである。

教員評価は、本学教員が自己の活動を点検し、評価することを通して、本学の教育研究活動の活性化を促進し、教員の諸活動への支援・啓発、本学の教育、研究及び社会貢献等の改善・向上に資するために実施するものである。対象者は、前年度1年間、本学の専任の教授、准教授、講師、助教であったものとする。評価は、「教育」「研究」「社会貢献」「管理・運営」の4領域としA～Dの評点に基づいて自己点検評価を行うこととした。

＜評価内容＞

(1) 教育

①授業担当科目 ②学生の授業評価 ③教育方法の改善等 ④FD活動 ⑤サークル活動等 ⑥学生支援

(2) 研究

①学術論文・著作等 ②学会等における研究発表 ③芸術・体育系分野の業績
④外部研究費の導入実績

(3) 社会貢献

①学会の役員、論文審査委員等 ②公的機関から委嘱された審議会、委員会等の委員
③公的機関から依頼された研修会等の講師等 ④公開講座等

(4) 管理・運営

①全学的委員会及びその他の貢献実績 ②入試業務関連 ③管理職の実績

(5) 反省、省察

12月に教員活動評価実施要項に基づき、対象教員の平成30年度における教員活動評価を実施し、活動報告書の提出を求めた。（提出者は13名中12名）

今年度は、教員活動報告書に加えて、授業改善報告書を作成した3名に対し、規定に基づき顕彰を行った。（学長奨励賞 ・木田竜太郎 ・菊地大介 ・橘和代 ）

6 研究活動の奨励

(1) 教育研究助成費における研究活動

助成3年目になる2研究、1年目の1研究を助成した。

- ① 研究課題 「インクルーシブ教育の理念に基づく幼小連携に関する研究」
杵鞭広美 田中正美
- ② 研究課題 「幼稚園、保育所、認定こども園における与薬対応について～主に江東区内の園(所)を対象に～」 岩本圭子
- ③ 研究課題 「短期大学の地域連携課題としての多文化・他民族教育と子ども支援」 木田竜太郎 杵鞭広美 田中正美

(2) 紀要の刊行

①有明教育芸術短期大学紀要第11巻

・原著論文 5編 ・実践研究 3編 ・研究ノート 1編

②子ども教育総合センター紀要第3巻

・原著論文 3編 ・実践研究 3編 ・事業報告 4編

7 募集対策

(1) オープンキャンパス（OC）

16回実施（ミニOCを含む）した。参加者延べ人数294名、入学対象の参加者は203名（30年度比+48名）であった。参加者が興味をもち、かつ楽しめるようなOCを



企画した。具体的には、参加者が楽しめる模擬授業、学生によるパフォーマンス、学生による相談コーナー、学生の案内による学内ツアーなどの実施である。

(2) アンケートの結果

OC参加の理由として「ホームページを見て」「興味があった・知りたかった」「友人の紹介（付添含）」等を挙げる者が多かった。OC内容について参加者の95%が「満足」しており、進路選択に当たって重視している事項は、「保育士資格取得」「幼稚園教諭

免許取得」「大学の雰囲気・校風」「学生生活」であった。

8 退学者

退学者は7名(30年度比-3名)で、学習意欲低下ないし進路変更を理由とする者が多かった。教務委員会・教務課による履修指導、保証人への通知の他、学内ワークスタディ(WS)及び『原級留置者の学生納付金に関する規程』による納付金の補助を行った。

9 学生生活

(1) 新入生研修

学友会主導で企画・運営が行われ、上級生や教職員と交流が深まった。特に上級生によるダンスや歌などの発表は、新入生に大変好評であり、年度末の3年生による卒業公演の礎となった。

(2) 縦割りクラスによる授業

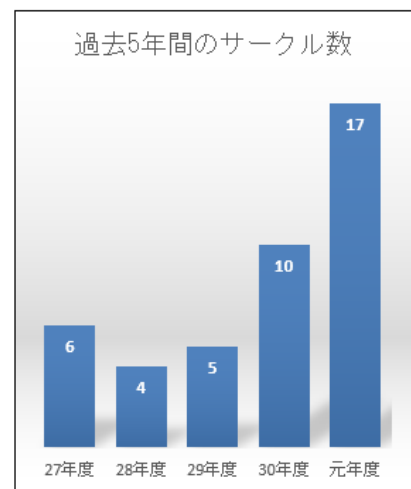
「学習と表現の技法」を縦割りクラスによる授業で行い、上級生と下級生の人間関係の構築に寄与した。

(3) 有明祭

主に教員側の企画で進められた。本年度当初から、学生の主体的活動を目指して活動している学友会参加による企画・運営は今後の課題と考えられる。

(4) サークル活動

サークル活動の活発化を奨励し、学生の主体的活動の進展を進めた。サークル数は17サークルとなり、さらに同一学年のみのサークルから複数学年での構成へと変化が見られた。



10 キャリア形成・就職支援

(1) 対策講座＜キャリア支援＞

1年「職業を知る」	9回実施 平均出席率 90.4%
2年「働くことについて知る／自分を知る・表現する」	7回実施 平均出席率 60.4%
3年「進路を決定する」	9回実施 平均出席率 71.5%

(2) 対策講座＜保育所、幼稚園、小学校就職試験対策＞

【前期】

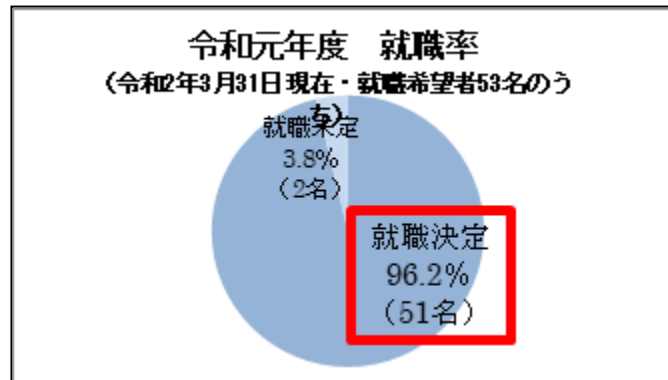
1年「基礎養成講座」	13回実施
2年「志望先別対策講座」	(幼・保) 12回実施 (小学校) 12回実施
3年「志望先別対策講座」	(幼・保) 14回実施 (小学校) 14回実施
「模擬試験」	(小学校) 1回実施

【後期】

1年「実践力養成講座」	14回実施
2年「実践力講座」	(幼・保) 14回実施 (小学校) 14回実施

(3) 就職状況

令和元年度卒業生		計	男	女
卒業生数		59	4	55
希望進路	就職	53	4	49
	進学	0	0	0
	その他	6	0	6
決定進路	就職	51	4	47
	進学	0	0	0
	その他	6	0	6



就職先内訳

保育所 51.0% (26名)

幼稚園 11.8% (6名)

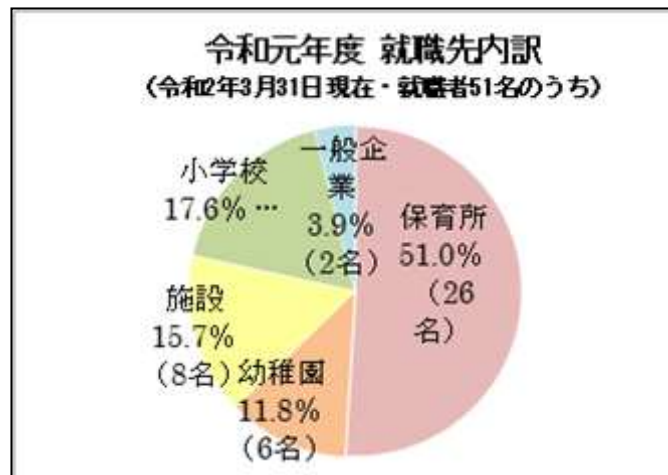
施設 15.7% (8名)

小学校 17.6% (9名)

一般企業 3.9% (2名)

東京都の公立小学校教員採用選考に、本学の大学推薦者として4名を推薦した。

公立小学校 5名、公立幼稚園 1名、公立保育園 1名が、採用選考に合格した。



11 地域等との連携・貢献

(1) 江東区との連携事業

① 江東区立の小学校、幼稚園、保育園への学生ボランティア派遣

小学校 1名、幼稚園 1名、保育園 1名

② 江東区子どもまつりへのボランティア参加

5月19日 3年生 2名・1年生 9名参加

(2) 講習会・講座・研究会

① 教員免許状更新講習

開設講座数 必修領域 1講座 選択必修領域 3講座 選択領域 9講座
受講者 延べ 363名

② 公開講座・子育て講座 8月3日実施

テーマ 「主体的な学びというけれど・・・保育実践から考える 子どもの育ち」

講師 溝口 義朗 氏 (東京都認証保育所「ウッディキッズ」園長)

③ 実践教育研究会 7月10日実施

テーマ 「保・幼・小の円滑な接続ー配慮が必要な幼児・児童を中心にー」

参加機関 江東区内の保育所、幼稚園、小学校

参加者 35名 (本学教員及び学生を含む)

(3) 子育て支援

① 親子サロン

2 2回実施 参加者 乳幼児・保護者 44 名

② 子ども発達相談

相談件数 1 ケース

(4) 近隣に住む子ども対象の催し

① 水の日イベント 8 月 1 日実施 参加者 144 名

② クリスマス訪問演奏 12 月 8 日・14 日 実施 地域のマンションへ訪問

③ 子どもたちとともに 2 月 6 日実施 参加者 150 名

(5) 産業界との連携

保育園事業者との意見交換

9 月 18 日（水）、大学における学修成果と各現場で求める資質能力と配属の際の留意点及び保育実習の評価の在り方等について意見が交わされた。

出席者

<産業界>

- ・ライフサポート株式会社 保育事業課長及び人財開発課
- ・ゆらりん豊四保育園園長

<有明教育芸術短期大学>

- ・学長 学科長 キャリア委員長、キャリアサポート担当

(以 上)

令和2年5月7日

令和元年度 日本音楽高等学校 学校経営指針に基づく事業報告

校長 菊本和仁

I 建学の精神や教育目標に基づく、目指す生徒像と学校像の目標を達成するために、以下の通り実施した。

II 令和元年度の取組み

1 生徒募集への全教職員による積極的な取組み

(1) 令和2年度 入学者数 ※()内は、昨年度の数

応募78名(103名)・受験78名(101名)・合格77名(100名)・入学57名(72名)

＜コース別入学者数内訳＞ A・・・単願 B・・・併願

音 楽	A	6 (14)	B	0 (0)	一般	3 (6)	合計	9 (20)
-----	---	--------	---	-------	----	--------	----	--------

幼児教育	A	9 (8)	B	0 (0)	一般	4 (0)	合計	13 (8)
------	---	--------	---	-------	----	--------	----	---------

バレエ	A	8 (20)	B	0 (0)	一般	5 (1)	合計	13 (21)
-----	---	--------	---	-------	----	--------	----	---------

舞台芸術	A	13 (18)	B	0 (0)	一般	9 (5)	合計	22 (23)
------	---	---------	---	-------	----	--------	----	---------

合 計	A	36 (48)	B	0 (1)	一般	21 (16)	合計	57 (72)
-----	---	---------	---	-------	----	---------	----	---------

※三浦学園奨学金（令和2年度入学生15名(OG特待重複1名)）

（内訳 成績特待:3名・実技特待:1名・OG特待:2名・近隣4区特待:9名・校長特待:0名）

※令和元年度入試の傾向

- ・昨年度と比べ、受験者が2割減となった。年間を通じて体験入学・学校説明会や学校行事等への中学生の参加が少なかった。また、今年度も都立高や県立高の倍率が低いため、B推薦での入学はなかった。一般入試も都内生や近隣県の入学生徒は見込めなかった。私立中や都外遠距離県の生徒の数も減ってきている。

※今後の対応

- ・今年度は、募集対策委員を一名増員して、委員の中学校訪問の絶対数を増やす。
- ・日音の学校行事（日音祭、サウンド・オブ・ミュージック）や体験入学・学校説明会に昨年度以上の中学生に来校してもらえよう、チラシ配布・HPでのコマーシャル・中学校訪問（バレエ教室・音楽教室等）をさらに充実させる。
- ・次年度に向け制服作成委員会を立ち上げ、魅力ある制服に変更する。

(2) 中学生の学内行事への参加のべ数 ※()内は、昨年度来校した中学生のべ数

	音 楽	バレエ	舞 芸	幼 教	未 定	合 計
日 音 祭	6 (14)	14 (31)	16 (20)	3 (7)	14 (0)	53 (72)
体験入学 6回	68 (131)	115 (179)	95 (132)	46 (40)	1 (2)	325 (484)
学校説明会 4回	23 (117)	53 (87)	55 (71)	36 (32)	2 (2)	169 (309)
サウンド・オブ・ミュージック	6 (13)	15 (32)	20 (38)	4 (6)	8 (23)	53 (112)
音楽講習会	19 (22)					

※中学生の学内行事への参加傾向

- ・令和元年度は、横浜方面を担当してもらっていた柳井谷先生（塾経営）が終了、募集対策委員の中学校訪問の絶対数減少もあり、平成30年度に比べて学内行事や体験入学・学校説明会への中学生の参加が減少した。中学生に本校の特色と魅力を理解してもらうためには、体験入学・進路説明会に参加が必須である。その増加は、A推薦（単願）の入学生増加に繋がる傾向にある。令和2年度は、特に音楽コースとバレエコースの増加を目指し、募集対策委員を1名増員し、中学校訪問数を2倍に増やすことにより今年度目標とする入学者数85名、また5年計画で定員100

名の入学者の実現に向けて具体的方策により尽力する。

2 豊かな人間性の育成

(1) 基本的な生活習慣の確立

全教室へ額に入れ、建学の精神と教育目標を掲示して、愛校心とともに意識向上を図っている。また、生活目標「あ：あいさつ、じ：時間、み：身だしなみ、こ：言葉遣い、し：姿勢」を教員に指導を徹底するとともに生徒会の取組の一つとしても様々な場面で行っている。特に「自ら進んであいさつ」に関して、令和2年度の重点目標とした。

(2) 日々の環境整備・校内に観葉植物、新聞・絵画・書等の掲示をし、音楽を専門とする女子校としての環境を整えた。また、生徒会活動の一環として朝の清掃活動・あいさつ運動や地域のボランティア活動を実施している。

(3) 年2回「心と体のアンケート」の実施

定点観測して比較予定・養護教諭の分析及び担任へ周知し、生徒の生活改善・生徒指導に活かしている。また、三者面談で保護者への啓発にも活用している。

(4) 一昨年度の学生会館を整備したことにより、昼休みと放課後を開放することで生徒が休息・学習・ミーティング等で更なる活用ができるようになっている。自販機の設置も生徒や保護者に好評である。

3 確かな学力の向上

「知性と芸術の融合」のもと、専攻実技や専攻実習の技能と表現を高める指導とともに基礎的な学力の定着・学習意欲の向上・希望の進路を実現する学力の向上を図る。(※各コースの専攻実技や専門の授業も『学力』として捉えることを周知)

(1) 朝読書・朝学習、夏期休業中の講習及び各種検定の実施状況

・定期考査前2週間の朝学習(実施時間 7:40~8:10)

国語：月・木 数学：金 英語：水・木 音楽：火(授業者1回 300円)

(参考)国語：須賀19回・奥山23回、数学：伊庭9回・大河原11回

英語：菅沼20回・兒玉20回、音楽：松田5回・小川7回・暮林8回

・夏期休業日の講習の実施(授業者1コマ：1,000円(講師を除く))

第1期・第2期 7月後半 8日間

第3期 8月後半 4日間

国語：須賀90分×4コマ・奥山90分×4コマ

社会：塚本90分×4コマ、数学：伊庭90分×4コマ・大河原90分×4コマ

英語：菅沼90分×4コマ・兒玉90分×4コマ

鈴木講師90分×4コマ(出講票にて対応)

・生徒の能力に合わせた各種検定の実施(英語検定・漢字検定)

(2) 日々の専攻レッスンや実習に向けて、練習や準備が進むように年2回のアンケート調査を実施し、一般教科の学習とともに改善を図った。令和2年度も、自己管理能力育成のための「フォーサイト手帳」を使用して、一週間のレッスンや実習までの準備や自宅学習の時間の確保等を自己管理できるように進路主任や担任から指導した。アンケートによる業者の分析から大きな効果がみられている。

(3) 各コースの特別レッスン・特別講座を国内外の講師を招聘して実施した。講師代はコース別企画書の予算等で対応している。

<音楽コース>

声楽コンサート 松本美和子氏(武蔵野音楽大学特任教授)

合唱指導 古橋富士雄氏・片野秀俊氏・田中達也氏

ピアノコンサート ミラン・デヴェターク氏(スロベニア)

ピアノコンサート 浜川潮氏

講師によるミニコンサート 本学講師(Sop.: 塙・本松・吉田)

管弦打楽器クリニック 本学講師(Sax・Cl・Hr・Vn)

ピアノアンサンブル 皆川純一氏(洗足学園音楽大学講師)

第7回OGコンサート 武蔵野音大・東京音大・洗足学園・昭和音大等 10名出演

- 音楽雑誌「月刊ピアノ」本校の紹介ページ掲載（3年連続）
- <幼児教育コース>
- パネルシアター 柏木麻衣子氏・鹿島裕美氏
タケちゃんのおもちゃ箱 竹部正人氏（遊びクリエイター）
ゆたか児童センター交流企画（年6回）
- <バレエコース>
- コンテンポラリー 平山素子氏
タップダンス 本校講師（F I M I K O）
ワークショップ 磯真琴氏（本校卒業生）ロンドンで活躍中（中止）
合同オープンレッスン 堀内充氏・榎本真弓氏（P伴奏）
ジャイロキネシス 鈴木真由氏（本校卒業生）
キャラクターダンス マイレン・トレウバレフ
（新国立劇場バレエ団プリンシパルダンサー）
舞台照明 山本英明氏
衣装製作 室谷浩子氏
- <舞台芸術コース>
- 演技特別講座 古澤勇氏（元劇団四季 振付・演出・スーパーバイザー）
エンターティナー 廣瀬愛氏（サリオ・ユーロラント）
リズムダンス 光海舞人氏（琴羽桜子：元宝塚歌劇団・本校卒業生）
日本舞踊 花柳花風香氏（中止）
- <2年生>
- 保健「妊娠」等 江田郁子氏（桶谷式乳房管理法研修センター・あかり助産院）

4 豊かな個性と創造力の伸長

（1）令和元年度の進路合格実績（音楽・幼児教育・バレエ・舞台芸術）

R2.4.1 現在

■大学・短大■

<音楽系>

東京藝術大学	音楽学部	声楽科：アルト	1名
武蔵野音楽大学	音楽学部	演奏学科 器楽コース：ヴァイオリン	1名
上野学園大学	音楽学部	音楽学科 器楽コース ピアノ専門	1名
昭和音楽大学	音楽学部	音楽芸術運営学科 音楽教養コース	1名
昭和音楽大学	音楽学部	音楽芸術運営学科 舞台スタッフコース	1名
昭和音楽大学	音楽学部	音楽芸術表現学科 声楽コース	1名
昭和音楽大学	音楽学部	音楽芸術表現学科 ピアノ演奏家コース	1名
昭和音楽大学短期大学部	音楽科	音楽教養コース	1名
洗足学園音楽大学	音楽学部	音楽学科 ピアノコース	1名
東京音楽大学	音楽学部	音楽学科 器楽専攻：ピアノ	1名
東京音楽大学	音楽学部	音楽学科 声楽専攻	1名
東京音楽大学	音楽学部	音楽学科 器楽専攻 弦楽器ヴァイオリンコース	1名
フェリス学院大学	音楽学部	音楽芸術学科	1名

<舞踊・バレエ・ダンス・演劇・舞台・ミュージカル系>

日本女子体育大学	体育学部	運動科学科 舞踊学専攻	3名
昭和音楽大学	短期大学部	音楽科 バレエコース	3名
桜美林大学	芸術文化学群	演劇・ダンス専修	1名
桐朋学園芸術短期大学		演劇専攻	2名
尚美学園大学	芸術情報学部	舞台表現学科	2名
尚美学園大学	芸術情報学部	情報表現学科 音響・映像・照明コース	1名
昭和音楽大学	音楽学部	音楽芸術運営学科 ミュージカルコース	1名
洗足学園音楽大学	音楽学部	音楽学科 ミュージカルコース	2名

<幼児教育系>

有明教育芸術短期大学 子ども教育学科	※本三浦学園併設校	2名
洗足こども短期大学 幼児教育保育科		1名

＜その他の学部系＞

上智大学 外国語学部 英語学科		1名
大妻女子大学 人間関係学部 人間関係学科 社会学専攻		1名
共立女子大学 家政学部 被服学科		1名
跡見学園女子大学 マネージメント学部 生活環境マネージメント学科		1名
西武文理大学 看護学部 看護学科		1名
東洋学園大学 現代経営学部 現代経営学科 企業マネージメント専攻		1名
目白大学 社会学部 社会情報学科		1名
日本大学 通信制教育部 文理学部 文学専攻 国文学		1名
戸板女子短期大学 国際コミュニケーション学科		1名

■専門学校■

＜舞踊・バレエ・ダンス・演劇・舞台・ミュージカル系＞

東京ダンス&アクターズスクール専門学校		1名
日本芸術専門学校		1名
日本工学院専門学校 舞台スタッフコース		1名
E S Pエンタテイメント東京 音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合コース		1名
東京スクールオブミュージック専門学校		1名

＜幼児教育系＞

日本児童教育専門学校		1名
------------	--	----

＜その他の専門系＞

日本外国語専門学校 国際エアライン C A コース		1名
横浜高等教育専門学校		1名
J T Bトラベル&トラベルカレッジ		1名
新東京歯科衛生士学校 歯科衛生士科 I 部		1名
新横浜歯科衛生士専門学校		1名
ベルエポック美容専門学校 美容師コース		1名

■劇団・バレエ団・海外留学・就職等■

劇団「四季」 研究生		1名
N B A バレエ団 研修生		1名
ベラルーシ国立舞踊学校（ベラルーシ共和国）		1名
語学留学（マルタ島）		1名
株式会社 W A B E		1名
アイリンク株式会社		1名

（2）自己実現を図る系統的で組織的で個に応じた進路指導

・各学年とも年間計画に基づきそれぞれの企画が実施された。学年全体での企画として、面接への対応についての指導、進路ガイダンスと進路体験報告会を実施した。

- 進路ガイダンス 5月14日（火）3年生対象（面接対策講座）
- 進路体験報告会 7月13日（土）全生徒対象（卒業生のお話）
- 進路ガイダンス 12月16日（土）1，2年生対象（大学等進路担当）
- 進路体験報告会 3月17日（火）1，2年生対象（コロナで中止）

※本校進路推薦内規（改訂版）の周知

（3）令和元年度各コースのコンクール・コンテスト・部活動の入選・入賞等

【音楽コース】

＜個人：コンクール＞ ※本選以上

- ・第29回日本クラシック音楽コンクール【予選通過：本選出場】
 - 1年フルート専攻・2年フルート専攻・3年声楽専攻・・・全国大会入選
 - 2年ピアノ専攻
- ・第43回ピティナ・ピアノコンペティション【本選：入選】

3年ピアノ専攻

- ・第20回高校生のための歌曲コンクール【本選：入選・奨励賞】

3年声楽専攻 (Sop)

- ・第11回東京国際声楽コンクール【東日本准本選：入選】

2年声楽専攻 (Sop)

- ・第38回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール【全国大会出場】

1年フルート専攻・2年声楽専攻 (Sop) ※全国大会は7・8月に延期

<団体：地域の演奏活動&コンサート・コンクール>

- ・「令和元年度第7回音楽コースOGコンサート」 7/27(土)：三浦記念ホール

OG：武蔵野音大(Pf3名 Sop・Cl)・昭和音大院生(Sop)・洗足学園音大(Sop2名・Pf・ミュージカル)・上野学園大(Tp) 計10名参加

- ・「音楽コース声楽講師によるミニコンサート」 8/21(水)：三浦記念ホール

演奏：ソプラノ独唱：埴京子先生 ピアノ伴奏：今村洋子先生

ソプラノ独唱：本松三和先生 ピアノ伴奏：井上照喜先生

ソプラノ独唱：吉田秀美先生 ピアノ伴奏：内田なお子先生

- ・「音楽コース管弦打講師によるコンサート」 11/17(日)：三浦記念ホール

サクソフォーン：中谷弘志・クラリネット：小坂真紀

ホルン：鈴木克博・ヴァイオリン：三浦知香子

- ・「ふれあい交流会」 12/19(火)品川区立三木小学校体育館

本校音楽コース他(近隣保育園・小中学校)

女声合唱・木管五重奏

- ・OKK主催会場説明会ミニコンサート 11/3(日祝)：大井町アワーズ イン阪急ツイン館 4F

木管三重奏(オーボエ・フルート1・フルート2)

- ・「第九を歌おう in きゅりあん」 12/22(日)：きゅりあん大ホール

女声合唱 OG：「第九」のソプラノパート

- ・「クリスマスコンサート」 12/24(火)：きゅりあん小ホール

女声合唱・アンサンブル/先生方&OGによる演奏・全員合唱

- ・第54回東京私立中学高等学校教職員音楽会 1/12(日)：東京オペラシティリサイタルホール

ソプラノ独唱：松田乃利子先生 ピアノ伴奏：小川教子先生

トロンボーン：暮林直樹先生 ピアノ伴奏：小川教子先生

【バレエコース】

<個人：コンクール>

- ・NBA東京ジュニアバレエコンクール東京2019 3/28(木)・29(金) 新宿文化センター

<高校1年の部> 1年バレエコース 3-2位

- ・第4回WBAバレエコンクール青葉の森 9/21(土)・22(日) 青葉の森公園芸術文化ホール

<JD部門> 2年バレエコース 第3位(キエフ舞踊専門学校入学許可)

<団体：演奏活動>

- ・「バレエコンサート 2019」全体指導：多々納みわ子先生 会場：三浦記念ホール

【舞台芸術コース】 11/9(土)

- ・「舞台芸術コースコンサート 2019 『Brilliant Company』」

スタッフ 演出・構成・振付指導：FUMIKO先生 歌唱指導：武田千宜先生

照明：山本英明先生(劇光社) 裏方：1年舞台芸術コース

【幼児教育コース】

- ・ゆたか児童センター「高校生と赤ちゃんとのふれあい事業」 年6回

- ・「地域保育園との交流企画」 11/19(水) ※品川ケーブルテレビで放映

- ・「日本音楽学校幼稚園の遠足引率補助」 5/17(金)・11/8(金)

- ・「併設有明教育芸術短期大学との高大連携」 9/17(火)

内容：模擬授業 橘 和代先生 赤坂澄香先生

<合唱部>

- ・第86回NHK全国学校音楽コンクール(東京都高等学校の部) 予選B：銀賞

- ・第74回東京都合唱コンクール Bグループ (33名以上)：銀賞
- ・春のコーラスコンテスト2020 (春こん)

< アンサンブル部 >

- ・2019 TAMA アンサンブルフェスタ トロンボーン三重奏：金賞

< ダンス部 >

- ・第66回東京都高等学校ダンス発表会
- ・第72回全国中学校高等学校ダンスコンクール
- ・第47回体育実技研究発表会：連盟特別賞 (上位2校)

< 演劇部 >

- ・令和元年度「東京都私立中学高等学校演劇発表会」優秀賞：「仮族団欒(かぞくだんらん)」

5 学校運営体制の強化

(1) 入学選抜の適正な実施

入学選抜に係わる試験問題の検討と作成及び願書の受付から合格発表、入学手続きまでの入学選抜に係わる進行管理は適正に行うことができた。

(2) 転退学等

全校生徒に充実した学校生活を送らせる高い満足度をもてるように指導をしているが、今年度、様々な理由でやむを得ず途中転学または退学した生徒の数は、以下の通りである。個々にその原因は違うが、教員のカウンセリング能力を高めるとともに保護者の理解を含め丁寧な対応と指導で減らしていく。

< 理由の一例 >

- ・生活指導上課題があり、怠学傾向で進級卒業できない。
- ・座学の学力はあるが、専攻実技がついていけない。都立高や私立高に転学。
- ・在学中、コンテストやコンクールに入選し、留学するために通信高校に転学。
- ・遠距離のため保護者と離れて暮らすことで精神的に不安定になる。
- ・中学生から不登校傾向にあり、集団生活に適応できない。

< 途中転学や退学者数 >

1年	幼：2名	音：1名	バ：0名	舞：1名	計	4名
2年	幼：1名	音：2名	バ：1名	舞：1名	計	5名
3年	幼：2名	音：2名	バ：1名	舞：1名	計	6名
合計	幼：5名	音：5名	バ：2名	舞：3名	計	15名

※転・編入

- 1年バレエコースへ アメリカ現地校より1名転入
- 1年バレエコース 2年次に舞台芸術コースへ転コース
- 1年音楽コース 2年次にホルンからピアノへ転専攻
- 1年音楽コース 2年次にトロンボーンから声楽へ転専攻

6 開かれた学校づくり

(1) 教育情報の積極的な発信

- ・本校公式ホームページは、家庭用PCだけでなく、携帯やスマホからも見ることができる。日々の更新を確実にし、情報の発信をしている。パスワードにより保護者・生徒だけが見られる連絡欄も活用している。新型コロナウイルス感染防止による臨時休校に対応するため、各家庭の情報機器環境に関するアンケートを実施する。また、中学生が興味・関心をもってもらえそうな本校の行事の情報や入試に関する情報もアップしていく。
- ・中学生の募集に関して、次年度の学校案内の完全リニューアルするにあたり募集対策委員会が中心となって進めている。今年度は、部分的にさらに改訂し、4月中に完成し、中学校に配布する予定である。
- ・校長の学校だより、各学年・各コースのたより、ホームページ等、生徒の様子や活躍の状況を多くの保護者・地域・中学生に知ってもらえるようにビジュアルも含めさらに改善していく。

(2) 併設の幼稚園・保育園・有明教育芸術短期大学との連携

- ・幼児教育コースの生徒による週に1度の併設幼稚園・保育園の実習や行事の手伝い等を含め、更なる連携を深めていく。
- ・有明教育芸術短期大学の教授による幼児教育コース（リトミック）の特別授業を行っている。昨年度も短大での授業体験&見学会など実施し、日音から2名の入学生を送ることができた。

（３）地域との連携

- ・荏原第五地区の清掃ボランティア活動に参加している。
- ・OKK 主催の会場説明会で木管三重奏が参加した。また、「三木小ふれあい交流会」に音楽コースのアンサンブルと女声合唱で参加した。
- ・幼児教育コースは「ゆたか児童センター交流企画」赤ちゃんとのふれあい講座に年6回の計画的に参加した。次年度も年3回の参加予定がある。
- ・生徒会役員は、年2回荏原第五地区清掃活動に参加した。次年度は、奉仕活動委員会を立ち上げ、協力者を募っていく。また、生徒会役員・荏原警察署員・下神明駅員の協力のもと「痴漢撲滅キャンペーン」に参加した。（警察署より表彰）
- ・華道部6名と顧問で、「2019 品川区民作品展」に生け花を出展した。
- ・日音祭やサウンドオブミュージック上演に関して、日頃からお世話になっている区役所管理職や小・中学校生徒や近隣住民を招待した。

（４）学校運営連絡協議会の実施 6月27日（木）

（外部委員）	保護者代表	宮内典久（父母と教師の会会長）
	同窓会代表	塙京子（同窓会会長の代理として出席）
	地域関係機関代表	蜂屋隆子（品川区立戸越台中学校長）
	地域社会代表	綱嶋信一（品川区商店連合会副会長）
（内部委員）	校長	菊本和仁
	教頭	松本幸浩
	副教頭	渡邊裕子
	事務局長	根岸順一（欠席）

- ・学校側から、本校の概要、教育活動の計画、魅力ある本校の教育内容、募集状況などについて説明した。募集を含めて本校への支援、協力を要請した。
- ・その後の情報交換の中で、地域の中に積極的に出てくる様になり日音の知名度も上がり、評判も良く成ってきているとのご意見を頂いた。今後も地域に出てきて更に日音、日音生の良さを伝えるために場所や機会の提供を続けるとの意見も頂いた。
- ・本校の公開行事への地域の方の参加も増えてきており、更に定着させ、中学生の入学の増加に繋げる方法の一つとして、令和元年度も開催する予定である。

7 教員の資質向上

（１）管理職の授業見学

- ・専任および教科講師や実技講師の授業（レッスン）の年間計画（シラバス）に基づいて授業見学を行い、管理職（校長・教頭）が、定期的に授業見学してアドバイスすることにより、生徒にとって「わかる・できる授業（レッスン）」を目指している。

（２）校内研修会

- ・教員の指導力向上のために、毎回の教員会30分間、校長を講師として教育課題に関しての研修会を実施している。また、私立中高協会からの予算を使って、昨年度に引き続き、立正大学の鹿嶋真弓准教授を講師として招聘し、研修課題「学級担任によるカウンセリング」について全教員で研修を行う。保健関係では、食物アレルギーをもつ生徒へのエピペンの使用やAEDの使用について全教員対象に研修を行っている。

（３）生徒による授業評価

- ・年二回（7月と12月）生徒による授業評価を行い、各教科の教員や講師の反省材料とするとともにPDCAサイクルで授業改善を行っている。

- (4) 授業力向上のための研究授業（学期ごと年3回）と校内授業研修会
- ・6月、12月、2月の研究授業を管理職と教員で参観した。生徒による授業評価に基づき、習熟度別に差のある生徒への対応を課題として教員全体での研修会を行うなど、一人ひとりの教員の授業力の向上に努め、生徒の授業への興味・関心の喚起と理解度の向上を図った。また、今年度も9月と1月の2回、生徒による授業評価に基づく教員研修会を行った。
 - ・赤点を取った生徒への効果的な指導法について、朝学習、放課後講習の活用を含め、具体的な方策を指導法を含め引き続き検討する。
 - ・授業への興味・関心を高め、習熟度に差のある生徒に対しての学習意欲を喚起するために教材研究や授業方法の工夫などを行っている。今後は、その実践報告を含め、研究授業の実施等を継続していく。
- (5) 自己申告書による面接及び業績評価・教員の動向
- ・校長と教頭が4月・10月・2月に自己申告書による面接を実施し、自己の課題を明確にし、学校経営のへ参画意識をもって教育活動を行う。このことにより業績評価、教員の指導育成に生かす。
- (6) 教員の高齢化・ミドルリーダーの育成
- ・50代の教員が増加し、主任格のミドルリーダーの育成が急務である。本校は、音楽・幼児教育・バレエ・舞台芸術4コースの生徒に対して特色ある教育を行っているため、普通科のように教員をあてがえばすぐに担任ができるものではない。コースごとに専門の知識があるミドルリーダーとなる教員の育成や定年退職に伴う1年間の引き継ぎができるような教員の採用が必要である。

8 学校施設管理と学校事務の充実

- (1) 予算の執行
- ・事務所との連携を図り、無理・無駄・ムラのない予算の執行を行う。
 - ・学園や事務との相談のもと、老朽化に伴う施設・設備（校舎・校庭・ホール）の長期的・短期的な修繕を目指す。
- (※保護者からの指摘や要望)
- 昨年度、3号館と5号館（学級棟）の外壁塗装工事で教室の雨漏りがなくなった。また、特Ⅱ教室の窓ガラスのフィルムを改修した。しかし、三浦学園ホールの天井ライト切れ・幕の不具合・オーディオ装置などの老朽化やカビ対策、また校庭の老朽化等々、危険箇所を含め計画的な修繕が必要である。
- (2) 通知表
- ・一昨年度、通知表もデジタル化してファイルに納めて保護者に渡せるスタイルに変更した。複数人による確認して作成することにより、転記ミスをなくす。また、2022年度の新学習指導要領の完全実施に向け、指導要録や通知表の更なる改訂を行う。
- (3) 情報の管理
- ・パソコン内の個人情報、持ち出さないこと、学校内で作業を行うこと。また、個人情報の入ったマル秘書類は、裏紙活用に回らないようにシュレッダーにかけなど確実に励行する。
 - ・校務分掌、教科や学年やコースが作成する起案文書（案）は、必ず教頭に提出し、校長の承認を受けることを徹底する。
- (4) 授業料の未納者
- ・事務所担当との連携を図り、期日までの確実な納金を目指す。未払い者に関しては規定どおりの段階を追って計画書を作成させ理事長の確認を取るようにする。

令和元年度 事業報告

日本音楽学校幼稚園

《 令和元年度の教育環境についての変化 》

「外 部 状 況」

- 1・令和元年10月より、保育料に対し一律に園児1人につき¥25,700の補助が支給される事となった。

又、預かり保育は1回の利用に対し、¥450の補助が支給となったが、各園の事務量は煩雑となり大幅に増加した。

- 2・例年は3歳になると保育園から幼稚園入園する幼児が多くみられたが、今年度は保育園から入園してきた園児は少ない。

幼稚園も保育料に対しての補助金はでたが、保育園は更に無償化に近い補助金であり、長時間の預かりや一年中休みなく運営されている点等から、働く母親の増加と共に、就学まで保育園に在園する幼児が増加している。

「内 部 状 況」

- 1・預かり保育の利用者も母親の就労により、年々、月決めで利用する園児も多くなり特に年少児から利用の増加がみられる。

その一方で、園児の園活動の範囲内での時間で仕事をもつ母親も増加している。

- 2・2歳児教室と年中児へ体育専門の指導者が月1回、導入された事により保護者からは好評であった。

- 3・病気により、急に6月で退職した教員が出た為、新しく入ったばかりの内部の教員が担任を務めたが、主任や年長の担任の補助を要する状況が続いた。しかし、1年間でこの担任も退職した。幼稚園は35名の園児数に対し1名の担任の補助金しか出していないが、行事や制作物、事務量などが多く担任の負担が大きい。

- 4・年少児から、退園者が5名出た。内、1名は父親の転勤によるものだが、4名は区内の公立幼稚園に転園。

《 園 内 活 動 に つ い て 》

1・令和元年度 年間教育重点目標について

年間教育目標：「表現」の領域より《 感じた事や考えた事を自分なりに表現する事を通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。》

- ね ら い
- ①いろいろな物の美しさに等に対する豊かな感性をもつ。
 - ②かんじた事や考えた事を自分なりに表現して楽しむ。
 - ③生活の中でイメージを豊にし、様々な表現を楽しむ。

幼児にとって「表現」は5領域全部にあたるといっても過言ではない。

例：絵画表現を例にとると、年少児の頃は課題に対しての表現は理解できる子と理解できない子の差が著しいが年長になると自分の思いを課題に沿って色彩も多色となり表現し遠足の絵などでは「友達」と一緒に楽しむ様子が描かれている。

園庭の草花にも年中になると、花を摘んで「色水」を作る。年長児は花をもんで「色水」を濃い色にする等の様子がみられる。

この様に各自の発達や学年毎の成長により確実に感性や表現する力が育っている。

2・教員の資質向上への取り組みについて

- ・内部研修は朝の連絡、報告会に重点をおいて教員の資質向上につながる様に努めた。
- ・外部研修は品川区私立幼稚園協会主催の研修には参加できたが、他への参加は難しかった。しかし、園内に講師の先生を招いての「絵本の研修」や「生け花」の研修は全教員が参加でき好評であった。

3・特別強化授業について

「楽器」は年中の3学期より、基本の「バチの使い方」「鍵盤ハーモニカ」の吹き方などを渡辺先生より学び、年長の運動会では「鼓笛隊演奏」、遊戯会では「合奏」を演奏できるまでに成長をみせている。そのせいか、周辺の小学校では主な楽器を担当しているのは、当園の卒園児が多い。

「体育」は年長は松本先生、年中には飴本先生が月一回でも入った事は保護者には評判が良い。

「英語」も安本先生が年長、年中に月2回指導にあたっているため、小学校の英語の授業にも興味が繋がっている。

預かり保育の中でも「英語でリトミック、英語でゲーム」などを課題の中でキンダー専任の足立先生の指導で実施している事は、園児にとって無理なく英語を楽しめる機会となっている。

4・園と保護者とのつながり

- ・懇談会、個人面談、家庭教育学級などに出席している保護者は、園活動に理解が深い
が、預かり保育の定期的利用の保護者は出席率が低いので補足が必要な事もある。
- ・保護者の会の活動について

今年度の役員は途中で退園の人や妊娠した方が2名ほど出たが、3名共、年少組の役員であった為、年長、年中の役員が補助をした。

一方、品川区私立幼稚園協会の常任の役も引き受けていたが最後まで頑張って役割を達成した。

5・預かり保育の強化について

補助金の関係から、都から要求される条件は年々、厳しく保育園に近い開設日数の増が求められている。しかし、当園は平常時は11時間保育、早朝保育も長期期間の夏、冬、春の保育も実施し、開園日の9割以上の条件もクリアしているので補助金は増加している。

又、日々の活動内容も五領域を加味しながら異年令の園児達が喜んで参加できる様に工夫している。

年々、年少児の月決め利用が増えてきた事や、長期預かり保育を利用する園児の増加もみられ、正規の預かり保育担当者は2名欲しい。

6・幼稚園と小学校との連携について

平成31年度は、宮前小学校との授業体験と給食体験は実現したが、行事日程が互いに合わず他校とは実現せず。

三木小学校との「ふれあい交流」では楽器を運ぶ手段がなく、「鍵盤ハーモニカ」の演奏のみで年長児が参加した。

7・地域との関係

- ・園庭開放・・・今年度も未就学児を対象として親子で参加 学期毎に1～2回、水曜日
午前11時45分～12時30分まで、無料にて 園庭にて固定遊具やボールを使って自由に遊び、絵本の読み聞かせを行い評判が良い。
- ・子育て相談・・・園庭開放の日や2歳児教室の日に実施。

8・令和2年度への入園募集への取り組みについて

- ・2歳児教室説明会 令和元年3月24日（土）午前9時30分 保育室にて

- ・子育て支援2才児教室：当園入園希望児を月2回、保育料を徴収し実施

35名募集 月2回 親子で保育体験 1回に17名、18名のクラス編成

登録料 ￥3,000

参加費 1回 ￥1,500 前期（5, 6, 7月） 後期（9, 10月）

時 間 1回 60分

対象児 在園児、卒園児関係 17名 外部より18名募集

月2回の内、1回は合同で大ホールにて、体育指導（飴本先生）が入った事は好評。

地道な取り組みを重ねながら取り組んできたが、令和2年度の年少児は保育園に流れ
35名の定数が取れず、32名となった。

《 年間事業 》

基本方針

・日本音楽学校は保育園の基本方針・保育目標・保育方針を基本に保育過程に沿って全体的な計画を立て年間指導計画・月週案を立案し、一人一人の発達・発育に合わせ日々の保育を細かく丁寧に実践している。

保育実践

- ・園の定める目標実現のため、指針を基本に保育計画に沿った内容をクラス間、又は全体で細かく確認しながら、一人一人の発達や興味・関心に沿った指導案（年・月・週・個）を立案し、丁寧な保育を進める事ができた。
- ・絵本や紙芝居などは担当者が定期的に絵本を入れ替え、その時の子ども達の興味や、季節のものなど

様々な絵本に触れる機会を設けていた。好みの絵本ができ、繰り返し何度も読んだり、保育士や友達とやり取りを楽しみながら、ゆったりとした時間を楽しんでいた。

- ・パネルシアターなど職員が普段の遊びの中でよく披露し、楽しむ姿があった。イメージや想像力を広げたり保育者や友達とのやり取りにもつながっている。
- ・人形劇・バルーンアートなど外部の方をお呼びし、年齢にあった内容を楽しんでいた。毎年他の園もお呼びし一緒に楽しみ、大変喜ばれている。
- ・公園では自由に歩き探索遊びや砂遊びを大いに楽しんだ。季節の花や虫を探したり、花や葉の色、自然物への気づきや発見を大切にし健全な発育につながっている。
- ・すべり台や鉄棒・バランス渡りなど体育的な運動遊びを取り入れ、（おす・のぼる・またぐ・ぐる等）運動機能の発達を促していった。近年は三輪車をこげない園児も多く意識して活動に取り入れた。
- ・室内遊びも充実すべく、コーナー遊びの充実をはかり、興味や発達にあった玩具を揃え一人ひとりが満足出来る環境を工夫した。また、今年度は手作りの玩具を多く取り入れ、お手玉・積み木など牛乳パックや布など身近な素材で親しみや温かみのある玩具を用意できた。
- ・季節の製作をはじめ、子どもの顔写真を多く用いて成長が分かるような工夫をしたり、年齢発達に合った活動（押す・握る・描く・ちぎる・等）を十分に取り入れていった。持ち帰り大事に飾ってある。との声が多く聞かれる。
- ・2歳児が中心となり夏野菜の栽培・収穫を経験する。どの野菜も豊作でミニトマトは保護者と一緒に収穫し家庭に持ち帰るほどだった。自分で育て、収穫し、調理をしてもらい美味しく食べる。食への興味関心につながり次年度も行っていく。調理職員大変協力的で理解を得ている。今後は冬野菜も検討している。
- ・今年度は安全ルートを確認し職員間で周知。危険性が高いと判断した公園（年齢にあっていない遊具・道路のすぐ傍）の散歩を中止し、遊ぶ公園を限定する。
- ・区の保育園の増加に伴い公園では、多くの園児が遊んでいる事が多く、学校のグラウンドを利用

する事も多い。広いグラウンドでのびのび遊べ、保護者からも喜ばれている。

- ・安全チェック表を作成し、公園で遊ぶ前にチェックをしてから安全に配慮した上で遊ぶようにした。
- ・職員の意識もより高まっている。また、園舎内・外も半期に1度点検をし安全面の確認を行う。今年度は荏原警察が設置した看板が劣化し危険な為、はずす様に依頼し撤去した。

・地域交流事業

- ・全ての行事に地域の方や見学にきた方に声をかけお誘いをする。
- ・玄関先の掲示板にて園便りを張り出している。近隣の方が眺めたり、行事の日程なども載せている。
- ・品川区立ゆたか保育園との交流は年々増え、園庭でのどろんこ遊び・お祭り・焼き芋会・ミニコンサートに参加させてもらう。当園ではお祭り・ベンちゃんと遊ぼう・人形劇・室内遊びと多くの機会を設けて交流を深めた。
- ・ハロウィーンでは商店街の方と交流をはじめ、近隣の通所施設(デイサービス)との交流も設けている。

お年寄りの方が大変喜び毎年の恒例となっている。

- ・子育て支援としては主に見学に来た方の相談など、気軽に話せる雰囲気大切にしている。相談自体はそれほど多くはないが、保育園に通うとなるとミルクに慣れたほうが良いのか、離乳食が進んでいない等心配なことなど相談される。「保育園が一人ひとりに合わせ対応するから大丈夫です」との対応に安心する様子。
- ・日本音楽学校幼児コースの実習生が年間を通し実習に来る。

・職務分担・職員勤務形態

- ・各クラスで行事等計画し、ねらいに沿って立案し年齢や発達にあった活動になるよう準備して進めた。
- ・繰り返し行う中で、職員の負担軽減など意見が活発に出ることもあり、行事のスリム化をはかる。
- ・次年度はファミリーデーを取りやめる。まずは子ども達が楽しく生活することを基本に考えていく。
- ・写真販売については以前から要望もあり、検討が必要。
- ・職員が1月と4月に2名産休に入る。経験が豊富な職員が抜けてしまうので、補充は必須となる。
- ・今年度は月極の延長児もあり、18時半までの園児も多かった。夕方の保育も手厚くなるように配慮・工夫が必要となった。
- ・新人職員の指導・育成に時間をかけ丁寧に指導することができた。当園の大事にしている家庭的で温かな保育を繰り返し伝えた。今後も育成に力を入れていく。
- ・職員間の意思疎通を図るために、クラス会議・リーダー会議・調理との打ち合わせと時間を設け子どもの見方、発達の捉え方、記録のまとめ、保育計画立案などに時間をあてている。今後も必要な時間となり職員の体制等工夫が必要。

・園内研修

- ・今年度は安全保育の見直しとして、ヒヤリハットを再度作成。遊具が新しくなっていたり、危険な場所を新たな目線で確認し共通理解を図った。定期的に見直し・確認が必要なので活用していく。
- ・品川区主催の研修会にも多く参加し保育内容や保育現場の現状を学ぶ機会が多くあった。職員会議などで得た知識・情報を還元し、共通理解を図っている。今後も積極的に研修へ参加していく。

・園外研修（別紙一覧表参照）も保育体制を整え全員参加し保育に活かしていった。

・その他

- ・2階非常口前の扉、1階ひよこ組出入口扉を新しく取り換えた。
- ・今年度は近隣のひろまち保育園の閉園（1年後）に伴い、優先的に3歳入園枠が決まってい今年度の2歳児は保育園選びに苦労した様子。次年度もその優先枠が適応されるので保護者へのアナウンスが必要。

年間保育内容 （園児状況） 行事状況

1期 （4・5・6月）
・園児受け入れ・・4月1日現在0歳児 7名 1歳児 11名 2歳児 11名 計 29名 （0歳5月より1名入園） アレルギー対応・・0歳児1名 卵・飲用牛乳・除去となる。毎月保護者・園・調理と打合せ ・4月各クラスの保護者会は行う。感染症が広まるおそれあり全体保護者会は中止。5・6月で保育参加をする。 ・4月健康診断（耳鼻・眼科）1・2歳のみ受診する。・「ベンちゃんと遊ぼう」4月よりスタートする。 ・「はじめましての会」「こどもの日」「ファミリーデイ」各クラス年齢にあった製作を楽しみ進められた。 ・2歳夏野菜の栽培を体験。保育参加では保護者とクッキング(クッキー作り)を楽しむ。簡単な調理の手伝いなど食育計画に沿って様々な経験をする。・地域交流としてゆたか保育園と打ち合わせをし年間の計画をたてる。5月より交流開始 ・年間を通して日本音楽学校幼児教育コースの学生を実習生として受け入れ子ども達と関わる。 ・第1回拡大委員会開催（6月19日） ・4月胃腸炎が流行し保健所に連絡し対応する。「
2期 （7・8・9月） 0歳児8月より1名入園 計31名
・7月1日にプール開き行う・・例年同様暑さ指数を確認し実行する。監視役の職員を配置し安全管理は徹底し、水遊び・温水遊びを楽しむ。・2歳夏野菜の収穫をし給食に提供してもらう。 「プール開き」「七夕の会」「プール閉め」「敬老会」・・祖父母30名参加 「とどらあまつり」天候に恵まれ学生会館にて行う。多くの保護者とゆたか保育園が参加し一緒に楽しんでいった。 日音幼稚園は感染症の園児がいたため参加できず。

8月に入園した児童は令和5月生まれなので、学年が1つ違う。生活のリズムが違い保育の工夫が必要だった。

3期 (10・11・12月)

・運動会・・・雨天のため中ホールにて開催した。今年度は職員や園児、保護者、計200名程参加。年々参加人数が増えている。

・「ハロウィーン」では近隣の商店の方や、昨年同様にデイケアセンターへ足を伸ばし子ども達の手遊びなどを披露し大変喜ばれている。次年度も続けていきたい。・個人面談を実施 ・サツマイモを収穫 今年度はどれも大変豊作。・みちくさサークルの方による人形劇を楽しむ。ゆたか保育園参加。

・「小さな音楽会」では各クラスの出し物、幼児教育科の生徒によるパネルシアターやバルーンアートのマルコさんをお呼びし楽しい時間を過ごす。保護者から大変好評だった。95名参加

・「お楽しみ食事会」今年もバイキング形式の食事をととても喜んでいた。

・2歳児クッキング ピザ作り

・第2会拡大委員会(12月13日)

4期 (1・2・3) 2月2歳児1名転園 計30名

・「新年おめでとう会」「豆まき」「ひなまつり」季節の行事や伝統を楽しむ。鬼カレーや澄まし汁・ひなあられなど、行事食を味わう。各クラスの発達や興味にあった製作を取り入れ、とても子ども達が気に入っている姿がある。 ・保護者会開催 ・ゆたか保育園アートランドへ遊びに行く。翌月べんちゃんと遊ぼうと一緒に参加する。 ・2歳児クッキング クッキー作り
・コロナウィルスの影響でお別れ遠足は中止 ・登園時に検温を開始し玄関先で園児受け入れ始める

・令和2年度 新入園児健康診断・面接 オリエンテーション開催(今年度は保護者1名のみとした)

・第3回拡大委員会(3月12日) ・「さようならの会」小ホールにて開催(卒園児とその保護者のみ参加)

卒・転園児 13名 (保育園 9名 幼稚園 4名)

令和元年度 研修受講実施一覧

日本音楽学校保育園 No. 1

月 日	研修名・研修内容・講師	時間・場所	対象者	受講料
5月20日 (月)	保育課職場企画研修 障害をもつ子どもを保育園で受け入れるとは	15:30～17:15 品川区役所	安藤	品川区主催 無料
5月29日 ～31日	キャリアアップ 障害児保育担当者研修会	9:00～17:00 大崎ブライトコア	藤巻	日本保育協会 20000 円
5月30日 (木)	特別支援サプリーダー研修全4回① 特別に支援が必要な子どもへの発達特性を理解する	15:00～17:15 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料
6月6日 (木)	保育課職場企画研修 保育園における健康支援	14:00～17:15 品川区役所	北村	品川区主催 無料
6月18日 ～19日 (月～水)	東京都社会福祉協議会 東京都保育研究大会 ～子どもがすこやかに育つ保育～	9:30～16:00 国立オリンピック記念 青少年総合センター	與崎	東京都社会 福祉法人 9000 円
6月21日 (金)	保育課職場企画研修 食育講習会	14:00～17:15 品川区役所	芝崎	品川区主催 無料
6月27日 (木)	特別支援サプリーダー研修全4回② 特別に支援が必要な子どもへの発達特性を理解する	15:00～17:15 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料
6月28日 (金)	保育課職場企画研修 障害児保育基礎講座	14:00～17:15 品川区役所	小島	品川区主催 無料
7月5日 (金)	ゼロ歳児の発達と保育 心と身体の発達、モノや人との関わりなど	13:00～16:30 保育プラザ	永井	保育プラザ 5000 円
7月8日 (月)	1歳児の発達と保育 ダダコネ、かみつき、自我のめばえ、ことばの獲得	13:00～16:30 保育プラザ	小島	保育プラザ 5000 円
7月9日 (火)	ゼロ歳児の発達と保育 心と身体の発達、モノや人との関わりなど	13:00～16:30 保育プラザ	北村	保育プラザ 5000 円
7月9日 (火)	認可保育所講習会 保育施設の防火防災対策など	13:00～16:00 品川区役所	田中	品川区主催 無料
7月10日 (水)	1歳児の発達と保育 ダダコネ、かみつき、自我のめばえ、ことばの獲得	13:00～16:30 保育プラザ	木田	保育プラザ 5000 円
7月11日 (木)	2歳児の発達と保育 2歳児ってどんな人たち？など	13:00～16:30 保育プラザ	藤巻	保育プラザ 5000 円
7月12日 (金)	2歳児の発達と保育 2歳児ってどんな人たち？など	13:00～16:30 保育プラザ	芝崎	保育プラザ 5000 円
7月18日 (木)	特別支援サプリーダー研修全4回③ 特別に支援が必要な子どもへの発達特性を理解する	15:00～17:15 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料
8月9日 (金)	サムデイクラブ 夏の講習会 新沢としひこ、ケロボンズなど	10:00～16:00 きゅりあん	薄葉 永井	学研 7200 円
9月2日 (月)	アトピー性皮膚炎のスキンケアについて 都立小児総合医療センター 益子 育代	13:30～16:40 あいおいニッセイビル	薄葉	品川区主催 無料
9月19日 (木)	特別支援サプリーダー研修全4回④ 特別に支援が必要な子どもへの発達特性を理解する	15:00～17:15 品川区役所	渋谷	品川区主催 無料

令和元年度 研修受講予定一覧

日本音楽学校保育園 No.2

月 日	研修名・研修内容・講師	時間・場所	対象者	受講料
9月20日 (金)	救急法実施計画 AEDと心肺蘇生について	14:30～15:30 2号館家政実習室	職員 10名	三浦学園 無料
10月4日 (金)	救急法実施計画 AEDと心肺蘇生について	14:30～15:30 2号館家政実習室	職員 3名	三浦学園 無料
11月15日 (金)	第1回 保育施設事故防止のための講習会 弁護士 寺町 東子	14:00～17:00 品川区役所	與崎	品川区主催 無料
11月20日 (水)	アレルギー対応体制強化・リーダー養成研修 施設におけるアレルギー対応に求められること	13:30～17:00 一ツ橋ホール	安藤	東京都福祉保健 無料
11月26日 (火)	第2回 保育施設事故防止のための講習会 危機管理アドバイザー 遠藤 登	14:00～17:00 品川区役所	田中	品川区主催 無料
12月3日 (火)	食物アレルギーへの対応	14:00～17:15 品川区役所	小山	品川区主催 無料
12月11日 (水)	食物アレルギーの基礎知識と保育場面でのアレルギー 対応食の取り組み 昭和大学医学部 長谷川 実穂	13:30～16:30 なかのゼロホール	木田	東京都福祉保健 無料
1月28日 (火)	保育課職場企画研修 感染症の発生および感染予防の対処方法	15:00～17:00 品川区役所	永井	品川区主催 無料